

# 議会ムダより

平成29年11月 No. 166 ■発行／土幌町議会 ■HPアドレス <http://www.shihoro.jp/assembly/>



## 中土幌保育園でハロウィン！

### 中土幌市街に仮装園児

#### Contents

- 9月定例会  
条例の改正、補正予算 [ほか] ..... 2ページ  
●一般質問  
ふるさと特産について [ほか 3件]..... 4ページ
- 平成28年度決算審査質疑 ..... 7ページ  
●かけ橋 [土幌町・美濃市児童交流事業参加者] ... 10ページ  
土幌町立土幌小学校 6年 市田 柊斗<ん>  
土幌町立中土幌小学校 6年 佐藤 美翔<ん>



平成29年  
第3回  
定例会

平成28年度一般会計ほか7特別・1事業会計

歳出総額146億4千万円の決算を認定可決



第3回定例会の様子（9月12日 一般質問）

第3回定例会が、9月8日から19日までの会期で開会。

8日は行政報告、教育行政報告、ほか1件の報告を行い、議案5件を審議。（9月9日～11日は議案調査のため休会）

12日は、議員4名が一般質問（質疑の要約は4～6ページに掲載）を行い、その後、平成29年度各会計補正予算を審議、平成28年度各会計の歳入歳出決算にかかる決算審査特別委員会を設置し、14日まで審査。（質疑の要約は7～9ページに掲載）

14日に本会議を再開し、全会計の歳入歳出決算を認定、会議案1件、意見書案4件、追加議案の工事請負契約の締結1件を審議、全ての議件を原案どおり可決し、閉会した。

条例の改正

【土幌町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例及び土幌町企業立地促進条例の一部を改正する条例】

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部を改正する法律案が成立し、地域経済牽引事業に係る計画を承認する制度の創設及び計画の承認を受けた事業者等に対する固定資産税の課税免除の規定等を定めた。

【職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例】

地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律案が成立し、育児休業等の対象となる子の範囲の見直しが行われ、育児休業の対象となる特別な事情を定めた。

第3回定例会で審議などをされた議件

報告	結果	賛・反
行政報告 ▼教育行政報告	結果	賛・反
例月出納検査報告	了承	
条例の改正	結果	賛・反
▼職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例及び土幌町企業立地促進条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
一般議案・その他	結果	賛・反
▼平成29年度農作物共済無事戻しについて	可決	全員賛成
▼北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について	可決	全員賛成
▼北海道市町村総合事務組合規約の変更について	可決	全員賛成
▼北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について	可決	全員賛成
▼専決処分の承認を求めることについて	承認	全員賛成
▼工事請負契約の締結について	可決	全員賛成
▼議員派遣の件	可決	全員賛成
人事	結果	賛・反
▼教育委員会委員の任命について	同意	全員賛成
平成29年度各会計補正予算	結果	賛・反
▼一般会計(第4号)	可決	全員賛成
▼国民健康保険事業特別会計(第1号)	可決	全員賛成
▼介護保険事業特別会計(第1号)	可決	全員賛成

## 人事

### 【教育委員会委員の再任】

任期満了により、時光氏の再任に同意。

時光 早苗さん（高德）

## 農業共済無事戻し

平成29年3月末をもって十勝農業共済組合と合併したが、平成29年度産の麦は、共済の責任主体が町となっている。

### 【農作物共済（麦）】

無事戻し人員 3人  
無事戻額

849,370円

無事戻しとは、加入者が過去の3年間、支払共済金を受けなかった時、又は、支払いを受けても軽微な時に、その期間中に払い込んだ農家負担掛金の2分の1（麦は3分の1）を限度に加入者に無事戻し金として返金する制度。なお、その期間中に支払われた共済金無事戻し金は差し引かれる。

## 各会計補正予算

一般会計、ほか4特別会計  
1事業会計の補正予算を可決。  
主な補正内容は次のとおり  
ふるさと納税Webサイト  
管理システム手数料

21万円

▼合併処理浄化槽設置助成金  
（8件分を追加）240万円

▼災害対応等ドローン購入

162万円

▼総合福祉センター設備修繕  
（パネルヒーター修理）

30万円

▼高齢者冬期就労対策事業  
（65歳以上を対象とした冬期間の雇用創出）

358万円

▼看護師等修学資金貸付金（介護士1名分を追加）

80万円

▼緊急雇用対策事業  
（65歳未満を対象とした冬期間の雇用創出）673万円

除雪用トラック購入

（北海道の払下げ品）

134万円

▼スクールバス修繕  
（バスを修理する費用）

29万円

81万円

▼土幌高校パソコン用サーバー更新

131万円

▼総合研修センター設備改修  
工事

331万円

（火災報知器受信盤等を更新）

### 【介護保険事業特別会計】

▼地域まるごと元気アッププログラム事業の追加  
（運動機能の維持・向上や認知機能低下予防を目的とした介護予防事業）

62万円

▼簡易水道事業特別会計

638万円

▼土幌地区の営農用水事業  
（既存設備の修繕等費用）

29万円

▼国民健康保険病院事業会計

70万円

▼病院設備修繕  
（施設内のパネルヒーター等の温度制御に関わる中央監視盤修理）

29万円

▼水装置修理

70万円

（生化学自動分析装置の純水装置修理）

29万円

▼簡易水道事業特別会計(第1号)	可決	全員賛成
▼農業共済事業特別会計(第1号)	可決	全員賛成
▼国民健康保険病院事業会計(第1号)	可決	全員賛成
平成28年度各会計歳入歳出決算認定	結果	賛・反
▼一般会計	認定	全員賛成
▼国民健康保険事業特別会計	認定	全員賛成
▼後期高齢者医療事業特別会計	認定	全員賛成
▼介護保険事業特別会計	認定	全員賛成
▼介護サービス事業特別会計	認定	全員賛成
▼簡易水道事業特別会計	認定	全員賛成
▼公共下水道事業特別会計	認定	全員賛成
▼農業共済事業特別会計	認定	全員賛成
▼国民健康保険病院事業会計	認定	全員賛成
意見書	結果	賛・反
▼林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	可決	全員賛成
▼適正な地方財政計画の策定を求める意見書	可決	全員賛成
▼教職員の長時間労働是正を求める意見書	可決	全員賛成
▼道教委「新たな高校教育に関する指針」を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書	可決	全員賛成

町民の声を町政に・町政のことが聞きたい

# 一般質問に4名が登壇

大西 米明 議員 ㊦ ふるさと特養について

中村 貢 議員 ㊦ 高齢者世帯・独居老人支援について

秋間 紘一 議員 ㊦ 新国民健康保険制度と軽減措置について

清水 秀雄 議員 ㊦ 子どもの貧困と自治体でやるべきこと

9月定例会では4人の議員が一般質問に登壇し、理事者の考えをいただきました。内容を要約してお知らせします。全文については議会ホームページに掲載(12月上旬予定)します。

## 地元雇用の場として

## 整備を

### 地域振興の観点から調査研究

【大西 米明 議員】



#### 質問

雇用創出や人口増の即効性から都会に住まいの方々を対象に特別養護老人ホームの整備を検討しては。

平成22年に東京都が全国に呼びかけ建設費を東京都が全て財政支援をし、地方が管理運営を行うとしたが、厚生省令等に抵触することから頓挫した経過がある。今、東京都は高齢者対策が喫緊の課題であることから、ふるさと特養施設の事業化

に向けて取り組んでは、

#### 町長答弁

都市部では、特養入居待機者の解消対策として効果があり、特養誘致は雇用に安定性があり、地方創生を図る上で期待されている。

しかし、現行制度上、東京都住民専用のふるさと特養の都外での整備は課題もある。人口減少対策は第6

期町づくりの重要施策であり、特区の動向や福祉制度の基準など関係機関とも連携しながら調査研究を進める。

#### 質問

直接東京から入所することで介護保険料での町民の負担がな

#### 町長答弁

提起があつた特区や東京都の市などと土幌町で何か受け入れる方法がないか今後協議をしていく。

く、仮に100床とする入所者、職員で人が200人以上の増になる。町として、研究・調査だけでなく特区など少し踏み込んだ検討をしてはどうか。



特別養護老人ホーム ほほえみ

# 高齢者事業に マンパワーの充実を

## ニーズに応えるため検討

### 質問

高齢者世帯、独居老人世帯が増加する中で、今後どのような対策が必要と考えるか。

### 町長答弁

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい、医療、介護予防、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化と推進を図りながら支援対策を総合的に展開する。

今年度から開始した



【中村 貢 議員】

生活支援体制整備事業における生活支援コーディネーターについてどこに配置されて、何を行うのか伺う。

高木保健福祉課長答弁  
社会福祉協議会に1名配置して各地区の老人クラブ、サロン、公民館などで高齢者の生活を支える体制づくりについての説明と地域ニーズの把握を行う。支援の必要な人に必要なサービスをつなぐ体制づくりを進めている。

質問  
高齢化、核家族化が進む中、身内が町外に住んでいる場合、地域住民同士の見守りネットワーク事業は重要であるが、先日町内施設で職員による高齢者の見守りを行っている人に

対して軽んじるような対応があったが、どう考えるか。

### 町長答弁

高齢者、独居の方を地域の方に支えていただくというのは大事なことで、大変ありがたい。詳細について今後調査し、職員個々としてより組織として検証しながら今後の対応について仕組みを作っていくきたい。

### 質問

地域包括支援センターの専門職や事業所のヘルパー、社会福祉協議会などの人員、専門職の増強、いわゆるマンパワーの充実が必要ではないか。

### 町長答弁

求められるニーズに合った専門職の雇用も検討していかなければならぬと考える。もう一方で町の関係機関がしっかりと連携しながら高齢者福祉施策に取り組んでいきたい。

# 新制度の 保険料(税)軽減措置は

## 基金および一般会計から繰り入れ

### 質問

平成30年度から始まる新たな国民健康保険制度において、財政運営の責任主体が道に移管されるが賦課徴収、保健業務等は、継続して町が担うこととしている。この制度の改正は、財政基盤安定を図ることとしているが、道への移管は、保険料が上がるという事になるが、次の事を伺う。

①道への移管に伴い、町及び町民にどのような影響があるか。

### 町長答弁

①新制度においては、北海道が市町村の必要とする療養給付費を全額支払うことから医療費が増加しても各市町村の国保会計が赤字にならず安定した運営が

行える。

②仮算定納付金額と今年度国保賦課総額の差は、保険基盤安定線入金を見込んで、およそ4,000万円程の差があり、大きく乖離している。

③本町における保険料率の設定に当たっては、支払い能力を勘案しながら、激減緩和措置として準備基金や一般会計からの繰り入れをしなければならぬと認識している。

④現在、本町は4方式(均等割、平等割、所得割、資産割)を採用しているが、新制度においては、3方式(除く、資産割)を採用する方向で検討したい。

### 町長答弁

⑤保険料率の設定に当たっては、生活や所得の状況に配慮しながら進めたい。

【秋間 紘一 議員】



# 子供の貧困対策は

## 一層の充実を図る

【清水 秀雄 議員】



### 質問

貧困を社会的に解決すべき課題として、子供の貧困問題が挙げられる。貧困を解決するために国、自治体などが取り組むか次の五つの課題について伺う。

- ① 貧困の実態究明調査を実施する。
- ② 乳幼児期の貧困対策の具体化。
- ③ 貧困率の改善対策の期限を区切った数値の改善目標の設定。
- ④ 政策形成を進めるために必要な財政投入

### 町長答弁

⑤ ①から④の課題の貧困対策部局を開設。  
日本では、子供の貧困がなぜ増え続け、自治体としてその根本問題を究明することが問われていると考えるが町長の所見を伺う。

国民生活基本調査によると、ひとり親の貧困率は50・8%と半数を超えている状況であり、子供の貧困は大きな社会問題となっている。本町も各種子育て支援対策を展開してきたところである。

- ① 貧困の実態を把握する調査について、各種経緯の実態調査をする必要があると認識している。政策推進調整会議内の子ども未来推進対策部会において検討を開始し、さらに子育て

て家庭の生活実態調査について検討したい。  
② 乳幼児期における貧困対策については、各種助成の他、保育料は、第2子以降の無償化、市町村民税非課税世帯及び、ひとり親世帯については、第1子からの無償化、出産祝金などの施策を行っている。  
③ 貧困率の数値目標について、子供生活実態調査を踏まえ上で検討したい。  
④ 財政投入について、第6期町づくり総合計画においても最重要施策として位置づけをしながら推進したところであり、一層の充実を図っていききたい。  
⑤ 貧困対策部局の設置について、政策推進調整会議内の子ども未来推進対策部会を中心として子供の貧困対策を含めた子育て支援施策を積極的に展開していきたい。

## 議会だよりをあなたのスマホにお届け



## マチイロ 導入しました

アプリをインストールし、簡単な個人設定を行うと使用開始になります。「お住まいの地域」で郵便番号などから「北海道士幌町」を登録すると、発行日に「議会だより」が届きます。



デザイン改善

オリジナル  
コンテンツ

オフライン  
閲覧



プッシュ通知



検索機能

平成28年度一般会計ほか8会計

# 決算委員会質疑

第3回定例会で付託された平成28年度各会計決算審査特別委員会（細井文次委員長）において、各委員から出された質疑の一部を要約してお知らせします。

## 一般会計

### 総務費

#### 地域おこし協力隊の業務内容は

**大西米明委員** 地域おこし協力隊は、どのような活動をしているか。

**瀬口総務企画課長** 道の駅、土幌温泉の運営支援、ホームページ、フェイスブック、SNSの活用、特産品の開発など他に東京での北海道フェアの出演による移住PRなどです。

**大西米明委員** 協力隊は、職員の補完でないのか。色々な経験した経験値を地域おこし

に知恵を出してもらっては。

**石垣地方創生担当課長** 地道以外の目線で土幌をPRするなど、地域の活動に協力し3年活動した後定住してもらうのが最終目標です。

#### 地域防災組織の設立方法

**大西米明委員** 3年間で地域防災組織を作りたいということだが、行政で組織すると個人情報保護の観点から難しい部分もある。今ある町内会という地域コミュニティで隣近所の面倒を見る「声かけネットワーク事業」の延長線上で、年一回の防災訓練という形の方がうまくいくのではないか。

**小林町長** 町内会組織の役員の中で地域防災組織を担っていただいて町で認定し、災害の備え、防災組織の研修への参加、地域での防災訓練などに取り組んでいきたい。

逆に地域防災組織ができれば、「声かけネットワーク事業」はそこに集約していけると考えています。

#### 全国瞬時警報システム（J-ALERT）の対応

**大西米明委員** 昨年の災害時には、エリアメールを使わないうで契約メールだったが、今回のミサイル発射時も契約メールだけだったが、なぜエリアメールを使わなかったのか。

**瀬口総務企画課長** エリアメールは、携帯電話向けの災害情報伝達で特定エリアに対し無料で一斉に自動配信できます。ミサイルが発射されてから着弾までの時間がなく、登録制メール（事前登録）にした経緯です。

**大西米明委員** 本町の場合、今回のミサイルに関しては仕方ないが、水害や地震災害時

には、どこがトップで指導していくのか。組織を編成するまでもなく、専門担当者が中心となり全て指示を行う所を設置して頂きたい。

**瀬口総務企画課長** 担当は、総務企画課総務グループが担当になるが、実際指揮を執るのは総務企画課長になります。

#### 防災会議の開催状況

**加藤宏一委員** 平成28年度の会議の開催回数は。

**瀬口総務企画課長** 未開催です。

**加藤宏一委員** 平成28年度は、大きな台風災害があったにも関わらず防災会議が未開催であった事は問題ではないのか。

**小林町長** 災害対応は、災害対策本部により対応している。防災会議は、地域防災計画等の審議や意見を頂くものであり、年内に審議頂く予定です。

#### 土幌北地区の避難所（水害時）変更は

**出村寛委員** 昨年の音更川の水害時に避難所として指定された北地区公民館が避難勧告エリア内であったことを見直しをする答弁であったが、どうなったか。

**瀬口総務企画課長** 既に水害の時には、3ミセンに避難するように、それ以外の災害時にはこれまで通り北地区公民館に避難するように土幌北地区の皆さんにはお知らせしました。

## 民生費

#### 民生委員の受持ち世帯数を見直しては

**秋間紘一委員** 民生委員の各地区の世帯数を見直しては。

**堀江保健福祉課主幹** 担当地域を見直すのは、区域の問題もありますので難しい状況です。

## 社会福祉協議会からの 供花紙のお供えは

**大西米明委員** 社会福祉協議会は町民からの会費と町からの助成金で運営されている。社会福祉協議会は葬儀の時供花紙を出す、供花紙だけではなくても年間7万円ほどの支出になる。町で供花紙を出していること、町民から会費をもらって運営している他の組織は出していないことから一考を。

**柴田副町長** どういう経過で出しているのかは判らないが、今後について社会福祉協議会に話が出たことを報告します。

## 子育て支援祝い金に 条件を付けてはどうか

**大西米明委員** 祝い金を支給し、1・2年すると転出していなくなる転勤族ですが本町に何年以上在住した、または、在住する方には、支給する。と言つような条件付き支給はどうか。

**小林町長** 子供に関わる、祝い金ですから余り厳しくしない

いで該当すれば支給するといふことで行つていきたい

**大西米明委員** 祝い金だからといえばそれまでだが、他町も条件付きのところもある中で、今後財政が逼迫する中、その辺考えていくべきではないか。

**小林町長** 基本的には、継続していききたいが、他町の事例も見ながら検討させて頂きま

## 浄化槽の法定検査は

**加藤宏一委員** 浄化槽は、法定検査が定められている。町としても設置助成を行っている事業であるにも関わらず未受検が増加している。法定点検は設置者の義務であると思われるが。

**小林町長** 町としても助成事業でもあり、法定検査でもある事から指導徹底をしていきたい。

## 保険福祉関係の 申請期間の見直しを

**大西米明委員** 保健福祉課の各種申請は本人からの申請で、町側から案内が来て申請にいくとなっているが、その期間や時間が短すぎる。2ヶ月ぐらい前から申請できるようにならないか。

**高木保健福祉課長** 一部の手続きでは、あまり早いとその人が異動することもあり、ある程度期間を限定しています。

**大西米明委員** 保健福祉課には、高齢者などの要援護者が用事があつて相談にくるところなので、課内でもっと連携を取り合い、申請に何回も出向かない様に改善してほしい。

**高木保健福祉課長** 課内の連携を図り、期間を長く取れるよう検討をしていきたい。

## 農林業費

### 農家への花嫁対策は

**大西米明委員** 花嫁対策につ

いて、結婚したい人同士の出会いの場をつくっても結果が出ないのは、本当に結婚する意思があるのか、ないのかの男性の意識調査をして分析していないのか。

**渡邊農業委員会** 過去に実施したが回収率が悪かった。

農業委員会としては、

- ① 出会いの場をつくる
- ② 若い人に女性との接し方を学ぶ機会をつくる…を設けたが、全国的に結婚する率が下がつていて、単に農業者だけの問題ではない。新しい試みや

新しいやり方を模索している。

**大西米明委員** 美濃市このいろいろな交流の中に花嫁対策も出来ないか検討してほしい。

## 不動産保有地の 活用は

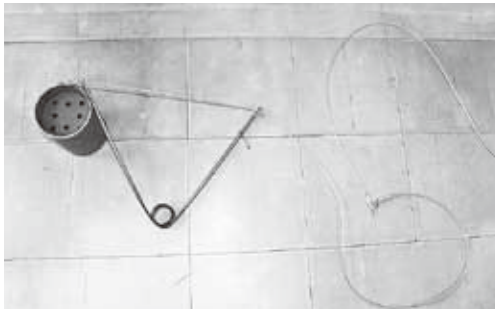
**加藤宏一委員** 白老と苦小牧に町有地を保有しているが、今後の活用法は。

**小林町長** 当面、基金として保有し運用してゆくものであり、具体的な活用は考えていない。



2017土幌町婚活イベント（十勝川温泉「彩凜華」会場）





エゾシカ等駆除用わな（わな猟免許が必要）

## エゾシカ（有害鳥獣駆除）対策の状況について

【河口和吉委員】 エゾシカの個体数は北海道内では平成22年度と平成28年度の比較で減少しているとの報告であるが、町内農業者で話をするところまでは個体での出沒にとまっていた場所にも群れて被害をもたらしているという話を頻繁に聞く。被害額としては大きなものではないが、労力・精神的なダメージは大きい。行政と農業者で認識を共有し更なる対策をとれないか。

【亀野産業振興課長】 猟友会、関係機関と協力しながら被害防止に努め、今後新たな施策等を活用しつつ取り組む。

## 介護サービス事業特別会計

### 行事の開催時期を検討しては

【大西米明委員】 特別養護老人ホームの夏祭りは、日曜日で多くの家族が来られ盛大に開



特別養護老人ホーム ふれあい夏まつり

催された。敬老会は、三棟別々の日程で開催されるが、平日に行われると家族が行きたくても出席できない状況になるので、是非日曜日に開催できるように検討して頂きたい。

【矢野特養施設長】 現在、敬老会は人数の関係上、三棟別々の日に開催させて頂いている。日曜日ということで三週にわたる開催になると思うが、出来ないことはないと思うので、次年度に向け開催できるように検討していきます。

## 居室の運用方法は

【大西米明委員】 特養の赤字が6,400万円を超えているが居室の運用状況は。

【矢野特養施設長】 入所者が入院すると退院が長引くか判断が難しい場合、最大3ヶ月間は退所扱いとしておりません。

【大西米明委員】 入院すると6日間しか収入がなく、3ヶ月間も空室をつくる介護度4・5の入所者だと100万円以上の収入減になります。そこで7日後には、新たな入所者を入居させ、入院した入所者は完治したら特養で空きしだい優先して戻しては。

【小林町長】 施設と病院とで検討します。

## 国民健康保険病院事業会計

### 入院に係わる対応は

【大西米明委員】 特養、老健、グループホームなど待機者が大勢いる。院長が社会的入院

もやむを得ないと言っているのに病床数60床の内、半分近くがなぜ空いているのか。総師長その理由は。

【佐々木総看護師長】 ……

【大西米明委員】 どうして入院患者が少ないのか。院長が社会的入院を認めて入院しても看護師が家族に対し、チク、チク遠回しに特養には、まだ入れないので他の施設などへ行ったらと言われ、否応なしに退院するしかなく。その話が町民全体に広がり外来にも来なくなる悪循環になっている。看護師は、入院患者が少ない方が仕事は楽にきまっているが3億5000万円の赤字を少しでも減らす為、院長1人で頑張ってもどうにもならない状況、病院職員全体で努力すべき。

【佐々木総看護師長】 誤解を招くような言動に十分な配慮が欠けていたことを反省し、今後病院の方針にそうよう徹底して指導を行っていきます。



士幌町・美濃市児童交流事業参加者

士幌町立士幌小学校 6年

市田 柝斗くん

美濃市との交流で思い出に残ったことはいろいろあります。

一日目は士幌町から、飛行機に乗って、美濃市の緑風荘に泊まりました。飛行機でドキドキしたのが思い出にのこりました。

二日目は、「うだつの上がる町並み」の見学、川遊び、ホームステイをしました。「うだつの上がる町並み」では、おみやげを買い、歴史などを学びました。川遊びでは、つめたくて、深かったのでおぼれそうになりました。ホームステイでは、永田さんの家にとまりました。温泉に行つて味噌カツ定食を食べました。

三日目はぎふ城に行ったり、歴史博物館に行ったりしました。ぎふ城にはロープウェイで行つて、お城の中を見学しました。博物館では、武士などの歴史を知ることができました。

四日目は飛行機などで士幌に帰りました。また、ぎふの美濃市に行きたいです。



美濃和紙の里会館 紙すき体験



士幌町・美濃市児童交流事業参加者

士幌町立士幌小学校 6年

佐藤 美翔くん

7月28日。ほくのたんじょう日の日に、美濃市に訪問しました。士幌の総合研修センターに着きました。中に入ると、知らない人たちがいっぱいいました。スケートで知っていた人はいたけど、他の人たちは知らない人たちでした。飛行機の中では、イヤホンをつけて、曲をきいたりしていました。中部国際空港に着くと、ほくは写真をとりました。でっかかったです。

2日目、ホームステイする人たちに会いました。2時くらいに川遊びをしました。水が冷たかったです。川遊びが終わって、ホームステイ先の家に行きました。家は、お寺でした。家は広かったです。9時ごろに、りひとさんのお父さんによばれて本堂にきました。そこでおきょうをとなえました。

3日目、この日は、ぎふ城と美濃和紙の里会館へ行きました。ほくはぎふ城でいろいろなものを買いました。美濃和紙の里会館では、和紙作りを体験しました。おみやげを買ったりしました。すごく楽

しかったです。ホームステイの家にいって、その日はプールに入りました。みんなでやって楽しかったです。夜に、りひとくんのお父さんに、ざんというのを教えてもらいました。4日目、最後の日に、みんなで写真をとりました。バスにのると、手をふつてくれました。そしてバスがうごきました。北海道に帰ってくると、ちよつと寒かったです。



緑風荘 朝食会場